

第14回飛島クリーンアップ作戦

速報

風薫る5月、田下海岸で霧とともに心も晴ればれ！

豊かな自然に恵まれ絶好の観光スポットとなっている山形県唯一の離島「飛島」。一方で大量の漂着ゴミが流れ着き、環境悪化が深刻となったことから、この課題を解決しようと始まった飛島クリーンアップ作戦も回を重ね、14回目を迎えた。産学官民の多様な協働のもと24時間テレビチャリティー委員会などの協力・協賛を得て、5月31日（土）、飛島西海岸で開催された。

今年の会場は昨年に引続き田下海岸。県内外から参加したボランティア、実行委員、島民など総勢およそ240名が海岸に下り立った。冬の荒天で打ち寄せられたプラスチック類や発泡スチロール、漁網やロープなどが漂着し、美しい草木の緑と海の青には似つかわしくない人工的な色彩が帯をなしていた。

田下海岸の本来の美しさを取り戻そうと、参加者は海岸線に沿って散らばり、漂着ごみの回収に取りかかった。当地には珍しい霧が立ち込めるなか始まったが、じきに霧も晴れ、晴天の中で作業をしていると汗がにじんだ。

ゴミ袋はどんどんいっぱいになり、島民が出してくれた漁船で次々に法木港へ搬送された。2時間半で集めたごみはトンパック33袋、推定で約2.9トンとなった。



昼食には、飛島に住む方々が腕によりを掛けた、ほっけや鰺、鯛のミックスつみれ汁、アラムの煮つけ、イカ焼き、わかめの茎の柴漬け風といった飛島料理や、心温まるホットドッグの差し入れに舌鼓を打った。

清掃後は、島民との語らいや島内散策を楽しむなど、絶好の晴天のもと、参加者それぞれが暫しの間、飛島の癒しを満喫されていた。

五月最後の土曜日。今年もまた、飛島からさわやかな風が吹いた。



【参加者の声】

- 今回の飛島の現状を知れたし、とても貴重な体験ができた。(10代女性)
- 今回の活動参加を通じて、飛島の役に立てたのではないかと達成感を感じました(30代女性)
- クリーンアップ作戦の継続により、飛島のゴミが減ってきたのが実感できた。(50代男性)
- 飛島がきれいになって、心が晴れやかになった。自然は大切な宝物。(40代女性)
- 飛島の人たちがとても優しく、親切でよかったです。(10代男性)
- 多くの方々と交流もできて良かったです。(60代男性)

●この事業は「24時間テレビ・山形放送」の協力を得て実施されました●

●実行委員会構成団体●

NPO法人庄内海浜美化ボランティア
NPO法人パートナーシップオフィス
NPO法人美しい庄内
一般社団法人山形県産業廃棄物協会
藻場再生研究クラブ
東北公益文科大学
飛島コミュニティ振興会
海上保安庁酒田海上保安部
とびしま漁村文化研究会
合同会社とびしま
酒田市
山形県庄内総合支庁
●協力●
山形放送株式会社
公益社団法人24時間テレビチャリティー委員会
株式会社みなと
●協賛●
公益社団法人東北海事広報協会
花王株式会社酒田工場
ビヨンド